

審 査 基 準 表
 (「みやざきNPO・協働支援センター事業」業務委託)

審査項目	審 査 内 容	配点	総合
内容構成力	事業の趣旨や目的等を十分に理解しているか。	15	44
	下記の業務内容が実現可能であり、事業による高い効果が期待できるか。	14	
	①公益活動への支援 具体的な支援内容が含まれているか。 県域全体に波及する支援内容となっているか。 NPO法人だけでなく、任意団体へのサポートも含まれているか。	※2	
	②活動支援スペースの貸出し及びサポート 貸出状況の見える化などの利便性を図っているか。 貸出しだけでなく、会議の方法などのアドバイス・実施支援を行うこととしているか。 支援スペースの貸出し及びサポートを実施することについての情報提供を行うこととしているか。	※2	
	③研修の開催 2回以上の研修を開催することとしているか。 具体例で上げている研修内容に添った内容か。	※2	
	④地域に根ざした協働事例の展開 地域にある優良な協働事例を自ら足を運んで発見し、取材を行うものになっているか。 優良な協働事例から、事例の関係者や近隣で活動している者も巻き込んだ意見交換会又は交流会となっているか。 協働事例の横展開が期待できる内容か。	※2	
	⑤情報提供 印刷物による広報だけでなく、広く県民に周知するためにSNSなど電子媒体を取り入れた情報の発信を行うこととしているか。 県民とNPOを結びつける情報の提供やNPO向けの各種助成金の紹介など公益活動の支援につながる情報提供を行うこととしているか。	※2	
	⑥関係団体との連携・協力 市民活動等が行う研修会への協力、公益活動を行う団体が地域で開催する研修会等に講師紹介や派遣など、関係団体との連携・協力を行うこととしているか。	※2	
	⑦その他 リモートの活用や広報の方法を工夫するなど利用者の増加を図っているか。 補助事業も踏まえ、委託事業の目的達成を推進することを図っているか。	※2	
	計画的な業務スケジュールとなっているか。	15	

審査項目	審査内容	配点	総合
独創性	提案内容に独創性があるか。	10	10
運営体制	業務を安定的に実施することができる必要な人材や体制が確保されているか。	10	10
経済性	提案内容に対し経費の積算は妥当か。また、節減が図られているか。	5	5
実績	本業務を受託等するに相応しい同程度の業務実績や熟練度があるか。	10	10
補助	補助事業の趣旨や目的等を十分に理解しているか。	5	16
	下記の業務内容が実現可能であり、事業による高い効果が期待できるか。	9	
	①相談対応及びサポート等の活動支援 相談対応方法、支援内容が具体的であるか。 NPO法人だけでなく、任意団体へのサポートも含まれているか。	※2	
	②中間支援組織間のネットワーク強化 ネットワーク構築のため、各組織と顔が見える関係を構築する取組を行うか。 中間支援組織に対して人材育成につながる取組を行うか。 中間支援組織としての機能を有するセンターがない自治体に対する支援も含まれているか。	※2	
	③「宮崎県・県社協・NPO防災会議」の取組協力 災害発生時に活動する関係団体と情報共有がなされ、「宮崎県・県社協・NPO防災会議」において他の構成員や協力団体と協力できる内容となっているか。	※2	
	④研修の開催 NPOの実態（資金不足・人材不足・運営不安定など）に即した研修内容となっているか。 NPOだけではなく、NPOを支援する者への研修内容も含まれているか。	※3	
	業務を安定的に実施することができる必要な人材や体制が確保されているか。	※2	
積算	提案内容に対し経費の積算は妥当か。また、節減が図られているか（次の式で計算を行うものとし、計算された値が高い数字のものから5点、4点、3点、2点、1点、以下0点と順に点数をつけていくものとする。同点の場合は、具体的に次のとおり点数をつけていく。例：2番目が同点の場合、5点、4点、4点、2点、1点、以下0点）。 式：5×最も低い見積額÷審査対象の見積額×補正係数 ※補正係数は、実行可能性やサービス向上の有無などを考慮し、審査員において次の数字から選択する。 （不良<1、1.05、1.1、1.15、1.2<良） 提案者が1者の場合は、予算額と同額の場合は1点とし、予算額を下回れば2点とする。予算額と同額であるが、必要経費が積算に入っておらず流用を前提に積算が組まれている場合は0点とする。	5	5
合計		100	100